

令和3年度 事業報告

1 概要

令和3年度の墨田区シルバー人材センター（以下「センター」という。）は、昨年度に引き続き、墨田区における新型コロナウイルス感染の発生状況と、区の感染拡大防止に向けた対応策を注視しながらの事業運営であった。特に、センター活動に関連のある区のイベントが実施されなかったことにより、普及啓発と社会奉仕活動を実施する機会が得られず、会員拡大や事業執行に影響を及ぼした。健康増進事業についても、回数削減や定員抑制を行ったうえでの実施となった。一方、会員の感染や濃厚接触は、年明け以降に増加傾向を見せたが、就労を通じた感染はほとんどなく、業務に大きな支障を及ぼすには至らなかった。事務局においてもテレワークを拡充するなど、感染拡大防止策の強化に努めた。

請負事業の実績は 657,278,170 円となり、前年度比 10.5%増、金額にして 62,371,566 円のプラスとなった。これは、コロナの影響が拡大する前の令和元年度を超える金額であるが、公共と民間の比率を見ると、元年度の 50 対 50 に対して3年度は 61.5 対 38.5 となり、公共が 11.5 ポイント増加した。この要因は、公共では区のお知らせ「ワクチン接種特集号」の全戸配布による増収が寄与しているのに対して、民間では受託件数は若干の減であったが、大手スーパーからの受注の縮小などによる受注額の減によるものである。

会員数は、年度末現在で 1,489 人となり、前年度末に比べて 43 人の減となった。入会者は 156 人（昨年度 124 人）、退会者は 199 人（同 255 人）で、いずれも昨年度と比べて改善が見られたものの、最終的に 1,500 人を下回ることとなった。男女別では女性の比率が 37.4%と低いほか、会員の高齢化も徐々に進行しており、退会理由のうち、病気、死亡及び加齢を合わせたものが半数を超えている。

以上のように、令和3年度もコロナ禍が続く中での限られた事業運営であったが、会員の理解と協力を得ながら可能な範囲で事業を実施してきた。

令和5年10月には「インボイス制度」の導入が予定されているなど、センターを取り巻く環境は厳しいが、計画に掲げた事業を着実に実施することで、新規会員の獲得と就業の拡大などに取り組み、高齢者区民の仕事を通じた生きがいのある生活と、活力ある地域づくりに貢献していく。

2 会員状況・事業実績等は後記のとおり。

3 諸会議の開催

(1) 定期総会	1 回
(2) 臨時理事会	1 回
(3) 理事会	12 回
(4) 安全管理委員会	5 回

(5) 入会説明会	22回
(6) 総務部会	4回
(7) 事業部会	3回
(8) 広報部会	16回
(9) 合同部会	1回
(10) 家事援助サービス連絡会議	3回

4 事業の実施内容

(1) 普及啓発活動の推進

ア 会員広報誌として「シルバーすみだ」を年4回発行した。

イ 区のお知らせ、区政概要、私の便利帳等の区刊行物を積極的に活用し、事業の普及啓発に努めた。

ウ 区内循環バス内に広告を掲出し、事業の普及啓発に努めた。

エ 区内循環バス時刻表に広告を掲載し、事業の普及啓発に努めた。

オ 区庁舎内の案内板に広告を掲載し、事業の普及啓発に努めた。

カ リーフレットや啓発物資を作成し、配布した。

キ インターネットのホームページにより、シルバー人材センターの紹介等を行った。

ク すみだ生涯学習センターにおいて、老人クラブ連合会主催の作品展で会員の作品を展示し、センターのPRを行った。

ケ 高齢者活躍人材確保育成事業（国事業）を活用し、新聞（6大紙）の朝刊に会員拡大チラシを折り込み、区内全域（約38,000部）に配布した。

(2) 就業機会拡大のための事業、研究

ア 就業機会拡大のための技術講習の一環として、東京しごと財団で行われる研修に参加して、技能の向上を図った。

イ 民間事業の受注拡大のため、積極的にPR活動を行った。

ウ 家事援助サービス連絡会議において、家事援助事業の受注拡大のための事例検討等を実施した。

エ ホームページに求人募集記事を掲載するとともに、当センター事務局に就業情報を掲示し、会員への求人情報の提供に努めた。

オ 発注者側の意見を聴取して就業内容に反映させることを目的として、発注者568団体（人）に対してアンケート調査を実施し、発注者の不満・要望に対する個別対応を行った。

(3) 会員・役員研修

ア 第一地域（墨東五区）シルバー共催

(ア) 正副会長会議（葛飾区） 1日 2人

(イ) 安全管理研究会（葛飾区）	1日	1人
(ウ) 安全就業研修会（葛飾区）	1日	7人
イ 墨田区シルバー主催		
(ア) パソコン研修	23日	延 165人
(イ) 学校施設貸出受付業務講習	2日	101人
ウ 東京しごと財団主催		
役員研修（経営管理）	1日	2人
エ 業務別懇談会		
(ア) 押上駅前自転車駐車場業務会議	2日	43人
(イ) スカイツリー周辺地区清掃等業務会議	1日	10人

オ 職員研修

東京しごと財団主催の合同研修への参加等により、職員の資質向上を図った。

カ 基礎講習会

就業にあたり必要な注意点や心構えを説明するため、新入会員及び既存の会員を対象にした基礎講習会を開催し、157人の会員が受講した。

(4) 相談業務

ア 就業相談・発注者相談は、その都度事務所において実施した。

イ ハローワーク墨田において、入会や就業に関する相談等を行う出張相談を6回実施した。

(5) 安全対策

ア 安全管理委員・安全対策推進員・安全就業推進員合同による安全管理委員会を開催し、安全就業の強化・推進を図るため、安全対策実施計画を策定した。

イ 安全管理委員会で「会員安全就業基準」「作業別安全就業基準」の内容を点検し、必要な改正を行った。

ウ 7月を安全就業強化月間に定め、安全就業に関するチラシと啓発物資を配布した。

エ 安全管理委員等による、就業現場の安全パトロールを24ヶ所で実施し、安全具の整備・点検及び実態把握を行った。

オ 安全就業強化月間の際、自転車修理を得意とするセンター会員2名により、自転車の安全点検を実施した。

カ 「シルバーすみだ」に事故防止及び健康管理について記事を掲載した。

キ 第一地域共同で安全管理研究会を開催し、事故原因の分析及び再発防止対策等を検討した。

ク 仕事別従事会員等に対して、就業中、就業途上及び帰宅途上の事故防止について呼びかけた。

- ケ 熱中症対策のために、会員に極冷クールタオル等を配布した。
- コ 配分金明細書に、安全に関する啓発記事を同封した。

(6) 健康増進事業の推進

ア カラオケ教室	3回	延 53人
イ ウクレレ教室	10回	延 135人
ウ 健康体操教室	3回	延 43人
エ すみだ花体操教室	11回	延 208人

(7) 労働者派遣事業

- ア 事業拡大のため、労働者派遣事業に関するリーフレットを作成し、墨田区内の事業者
に配布する等のPR活動を行った。
- イ 派遣就業に従事する会員に対し、入職時研修等を随時実施した。

(8) 地域班

地域班長の役割を見直して負担軽減を図るとともに、地域班長制度を効果的に運用して
いく方策を探るため「地域班長アンケート」を実施し、その結果を反映させた見直しを行
った。

(9) インボイス制度（適格請求書等保存方式）導入に向けた対応

配分金明細書に、配分金には消費税が含まれている旨を明記したほか、インボイス制度
が始まった際のセンターと会員への影響について周知した。